

グリーストラップ使用の皆様へ

～下水道からのお願い～

飲食店やレストラン、ホテル、学校給食、病院等の厨房の排水には、大量の食材を調理して食器の洗浄をするため、多量の油分が含まれています。この油分を除去することなく下水道に流すと、宅内の排水管や公共下水道の汚水管を詰まらせることとなり、維持管理で大きな問題となります。

また、下水処理場や浄化槽の処理機能を低下させ、最悪の場合、処理水放流先河川の水質等に影響を与えることにもなります。

これらを防止するために、『グリーストラップ』を設置する必要があります。

油脂等はトラップ内にたまりますが、そのトラップの十分な維持管理、定期的な清掃を行わないと、トラップの機能を果たさなくなり、結局排水管の詰まりや、悪臭の発生、下水処理場や浄化槽の処理機能低下といった原因になります。

グリーストラップは、必ず定期清掃をするようにして下さい。

また、清掃の際、自分の排水管ささえきれいなればよいと、公共下水道へ油脂分を流すと、公共下水道の汚水管が詰まり、自宅からの排水が流れなくなるばかりか、

周辺住民の排水も流れなくなり、多大なる被害が及ぶ恐れもありますので、清掃にも十分気を使いましょう。

◆グリーストラップとその維持管理について

(飲食店業の方は必ず設置するものです。)

以下の管理を確実に行ってください。

- 1 バケット(金網かご)に溜まったゴミは毎日清掃して下さい。
- 2 浮き上がった油脂やごみ(残さ)は、週1回程度除去して下さい。(量が多い時は、毎日)
- 3 グリーストラップの槽内の沈殿物は、月1回程度除去して下さい。
- 4 グリーストラップの清掃は2～3ヶ月に1回程度行って下さい。

※処理された排水によって、公共樹、下水道管等の下水道施設を油等により詰まらせ、又は破損させた場合、原因者に対し、その清掃又は修理に係る費用の全部又は一部を支払って頂くことになります。

※毎年、1～2件は詰まりの報告を受けております。

定期的に清掃し適切な維持管理を実施するようお願い致します。

9月10日は「下水道の日」

～下水道からのお知らせ～

下水道の日とは

1961年(昭和36年)、著しく遅れている我が国の下水道の全国的な普及(当時の普及率6%)を図る必要があることから、このアピールを全国的に展開するため、当時の下水道を所管していた建設省(現在の国土交通省)、厚生省(現在は環境省に所管変更)と日本下水道協会の前身団体が協議して「全国下水道促進デー」として始めました。

また、9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割である「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日(立春から数えて)が適当であるとされたことによるものです。

それから約40年が経過し、日本における近代下水道の基である旧下水道法が制定された1900年(明治33年)から100年を迎え、その記念行事が行われたこと、また、2001年(平成13年)が21世紀のスタートの年にあたることなどから、近年の下水道に対する認識

故障したら・・・

トイレが詰まった場合は、市販の「ラバーカップ」を排水口のあたりで押したり引いたりして下さい。

たいていの場合は、これで解決します(右図参照)。

その他、家庭内の排水設備が故障したと思われる場合は、水洗化工事をした指定工事店等に修理を依頼して下さい。

また、排水設備等で何か不明な点がありましたら、気軽に下記までご相談下さい。

の高まりもあり、より親しみのある名称として「下水道の日」になったものです。

つないでいますか?下水道

公共下水道が整備され、供用開始の公示がされた地域では、「遅滞なく、下水を公共下水道に接続しなければならない(下水道法第10条)」と定められています。水洗化にして快適な生活環境を作りましょう。

下水道への接続は「幌延町排水設備指定工事店」に依頼して下さい。

排水設備を大切に

排水設備は、使用上の注意を怠ると、故障を起こしたり設備の寿命を縮めたりします。日頃から管理には十分気をつけて大切に使いましょう。

- ▽雨水はつながない。
- ▽排水口から異物を流さない。
- ▽トイレの使用後は適量の水を流す。

